

昭栄中学校について

佐賀市立昭栄中学校は、日新、嘉瀬、新栄の3つの小学校区からなり、佐賀市の西部に位置しています。

昭和28(1953)年4月、日新小学校仮校舎で新入生284名を迎えて開校しました。昭和33(1958)年には、嘉瀬中学校との統合合併により、大規模校となりました。昭和40年代には、一学年14クラスのときもありました。校舎の老朽化に伴い、昭和58(1983)年に新体育館、昭和61(1986)年には新校舎が落成しました。

時代は変わりますが、第四代校長真木先生の「大いなる理想を胸に今日を最高に生きん」の言葉と「元気・本気・根気」の三気精神は、昭栄中学校に学ぶ者の信条となっています。

旧校舎 校門付近<昭和58(1983)年当時>



新校舎 校門付近<平成15(2003)年(創立50周年)当時>



旧校舎全景 < 昭和58(1983)年当時 >



新校舎全景 < 昭和61(1986)年落成当時 >



< 文章・写真ともに、昭栄中学校創立50周年記念誌「時を超えて」(昭和62年2月発行)より抜粋 >